

TRY

2019年
11月号



北見商工会議所青年部事務局

〒090-0023 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内
TEL (0157) 23-4111・FAX (0157) 22-2282 E-mail info@kitami-yeg.jp
URL <http://www.kitami-yeg.jp>



北海道ブロック大会に参加して



北見商工会議所青年部
副会長
武田 哲司
株式会社たけだ
セブンイレブン
北見高栄西町店
オーナー

令和最初に行われました日本商工会議所青年部 第32回北海道ブロック大会 滝川大会が9月20日・21日に開催され、北見より19名のメンバーで参加をさせていただきました。

本大会の開催地テーマを「維新躍進〜up draft（上昇気流）滝川の風を受けて変心〜」とし、新たな時代の幕開けに北海道のすべてのYEGが更なる飛躍を目指すべく、滝川の地から新たな気持ちを持ったことと思います。

記念式典では、稲葉ブロック代表理事、日本YEG田中会長、滝川YEG中嶋会長がご挨拶をされました。

昼食後には記念講演ということで、講師に元北海道知事、参議院議員 高橋はるみ氏をお招きし、地域経済の発展に伴うYEGへの期待ということでお話を聞きました。

その後、分科会にも参加をして、夜は松尾ジンギスカンにて大懇親会が行われました。

次回開催、第33回北海道ブロック大会は石狩の地で行われることとなり、大会旗が石狩YEGへ手渡されました。次年度も多くのメンバーで石狩の地へ心同じく活動するメンバーがいる街へ行きましょう。



ビア&カフェぼんち村 思いを纏にのせて

本例会は『第66回北見ぼんちまつり』の協賛事業である『ビア&カフェぼんち村』を開催致しました。昨年同様本年度も天候に左右されず安定した事業にすべく例会事業を2回の開催とさせて頂き初回は5月25日(土)に2回目を本祭である7月19日(金)から7月21日(日)の3日間の開催とさせて頂きました。初回は『ビア&カフェぼんち村ビールパーティ』と称し北見経済センタリーにて執り行い、北見商工会議所永田会頭に乾杯の御発声を頂戴し、(公社)北見青年会議所にもご協力頂き、北見ぼんちまつりのPRと当委員会よりステイジイベント、フードメニューのPRもさせて頂きました。また、本年も多くの景品と各種飲み物やオーダブル、スナック菓子も用意し最後まで多くの皆様楽しんで頂けたと思います。

出来ました。本年度より我々北見商工会議所青年部が広場関係委員会に属する事となり、会場運営にも積極的に関わらせて頂き(公社)北見青年会議所と共にステイジイベントのスケジュールをすり合わせた事や20日(土)21日(日)両日とも天候にも恵まれた事も幸いし開催期間中は本当に沢山の方にご来場頂き『ビア&カフェぼんち村』の販売も切れ間なく商品を提供する事が出来ました。反省点として書類申請上の不備があり関係各所の方々に迷惑をお掛けした事や、予想以上の集客により販売ブース、かき氷が非常に混雑した等忙しいブースとその他ブースに差があった事があげられました。



最後に北見商工会議所青年部メンバーはもとより、(公社)北見青年会議所、商工会議所女性会、ぼらんち会、酒販組合、ボランティアアスタッフの皆様の大なるご支援、ご協力頂きました事に心から感謝申し上げ事業報告とさせて頂き、ぼんち村事業の事前準備、事務的な事も含め次年度へ『思いを纏にのせて』引き継いでいきます。

北見YEGが 北見の観光プランを考える！

研修委員会では、現在、多くの市町村で注力している「観光振興」に着目し、今年度の年間テーマに据え、その第二弾となる8月例会を「北見YEGが北見の観光プランを考える！」と題し開催しました。

例会内容につきましては、第1部では、北見YEGメンバーに、4月例会後から7月まで投稿していただいた「委員会対抗フォトコンテスト」の受賞選定を行いました。第2部では、4月例会で集めたアンケートやインタビュー等の素材(点)、及び第1部で得た観光情報、そして当委員会独自に調べた観光情報を基にグループディスカッション形式にて共有し、各グループでテーマに沿った周遊ルートを検討し発表しました。

研修委員会では、現在、多くの市町村で注力している「観光振興」に着目し、今年度の年間テーマに据え、その第二弾となる8月例会を「北見YEGが北見の観光プランを考える！」と題し開催しました。

研修委員会では、現在、多くの市町村で注力している「観光振興」に着目し、今年度の年間テーマに据え、その第二弾となる8月例会を「北見YEGが北見の観光プランを考える！」と題し開催しました。

研修委員会では、現在、多くの市町村で注力している「観光振興」に着目し、今年度の年間テーマに据え、その第二弾となる8月例会を「北見YEGが北見の観光プランを考える！」と題し開催しました。

研修委員会では、現在、多くの市町村で注力している「観光振興」に着目し、今年度の年間テーマに据え、その第二弾となる8月例会を「北見YEGが北見の観光プランを考える！」と題し開催しました。

弔辞ワーク
—いのちにおくるてがみでわかりあおう—

総務広報委員会はこれまで総会運営、エンジェルタツチの普及等にチャレンジすることで青年経済人としての意識醸成に取り組み、YEG活動を円滑に進められる体制づくりを進め、組織強化を図ってきました。

本例会ではより直接的にメンバー間の相互理解を深め、北見YEGが一体感を持った力強い組織となることを目的として弔辞ワークにチャレンジいたしました。弔辞とは本来、故人の霊前で故人に捧げる弔いの言葉であるため、それが例会というシチュエーションでどのように展開されるのか、メンバーにとって全く未知のものであることから、徐々にワークの全貌が明かされていくような構成としました。ワークはテーブルごととペアになったメンバー同士で互いに質問・回答するというセッションから始まり、その時点で弔辞ワークという言葉の持つイメージとは逆に、明

るい雰囲気で開催が動き始め、続いてその質問・回答をテンプレートと照らし合わせて弔辞を作成するセッションでは各テーブルから笑い声が聞こえてくるようになりました。テーブル内での弔辞発表の際には、テンプレートに捉われないスタイルで弔辞をアレンジしたり、読み上げる際にテーブル内でローカルルールが生まれるなど、弔辞ワークへ積極的な姿勢を示しつつ、それぞれの想いを込めて弔辞を読み上げ、メンバーの人物像やエピソードを共有する時間となりました。

最後はそれぞれのテーブルから代表を選出し、真面目な弔辞、面白い弔辞、意外性のある弔辞、ストレートな弔辞、個性的な弔辞、様々な弔辞が披露されましたが、いずれもメンバーの生き方や価値観が反映されたものでした。

本例会は弔辞ワークと



いう全員にとって未知のツールを使うことで、それぞれの経験や年齢に関わらず、メンバー相互、そしてメンバー自身の理解を深めることを可能とし、それにより北見YEGが一体感を持った力強い組織となるための機会となりました。

本例会にご協力をいただいた全ての方々に感謝を申し上げ、例会報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

20周年事業へ
向けスタート！

本例会は、北見YEG創立20周年に向けて次年度体制をスムーズに進行する為、20周年事業までの限られた期間内に何が必要であるのかを早い段階で発表し、メンバーが周年事業構築へ向け全体のイメージを共有する為の例会を開催致しました。

会長と随行実行委員長は、周年への抱負やメンバーに対しての想いなどを語っていただくことで、周年事業成功へ向けた更なる意識向上を図ることができました。

はじめに、「20周年事業運営マニュアル案」を総務・記念誌部会、記念式典部会、懇親部会、記念事業部会の4部会に分けて発表しました。20周年における組織図案、現時点で考えられる各部会の事業項目・スケジュール案の発表は、10周年を経験したメンバーが少ない現状の中、慣れない作業や焦り、不安を少しでも解消することができ、より具体的な準備やとるべき行動を把握することができたと考えます。

その後、市川委員長より今年度委員会として20周年に対し準備をしてきた総括を発表し、映像と共にこれまでの活動を振り返りました。そして、最後に委員会の熱い想いを込めて、次年度随行実行委員長へ6月例会でのデイスカッション結果のまとめである20周年記念事業案と、メンバーからのアンケート結果を一つにまとめた資料、20周年事業運営マニュアル案、各部会行動スケジュール案のデーターを手渡しして終了しました。

例会を振り返ると、パネルデイスカッションでは、市川委員長、丸茂副委員長より参加した帯広、根室の周年事業の印象や参考事例などを発表し、次年度小村

最後になりましたが、今回のマニュアル案を作成するまで、長期に渡りメンバーの皆さんにはアンケート等においてご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

また、全メンバーが次年度以降円滑に移行できるよう、例会終了後8月例会アンケート結果、6月例会アンケート結果、6月例会デイスカッション結果のまとめ、20周年事業運営マニュアル案、各部会行動スケジュール案を事務局よりデーター共有しましたことも併せてご報告とさせていただきます。

また、全メンバーが次年度以降円滑に移行できるよう、例会終了後8月例会アンケート結果、6月例会デイスカッション結果のまとめ、20周年事業運営マニュアル案、各部会行動スケジュール案を事務局よりデーター共有しましたことも併せてご報告とさせていただきます。



\ 北見YEGで繋がろう!! /

会員募集

北見YEG (北見商工会議所 青年部)とは？

私達、北見商工会議所青年部は、主に北見市内で活動している50歳までの商工業青年経済人の集まりです。沢山の人がこの街を好きになり、この街で働き、この先もずっと暮らしていけるように、豊かで住みよい郷土づくりに貢献しています。

Q.1 入会の資格は？

北見商工会議所の会員事業所に所属する経営者及び従業員とし満年齢で50歳までの方です。

Q.2 入会することのメリットは何でしょうか？

事業活動を通じて自己の能力開発や資質の向上が期待できるとともに、同業・異業を問わず色々な人たちと情報交換ができるようになります。

Q.3 女性でも入会できますか？

はい。女性会員も参加しております。北見 YEG の主旨に共感、賛同していただける方は男女問わず、入会いただけます。お近くの北見 YEG メンバーへご相談ください。

Q.4 お金はどれくらいかかるのでしょうか？

基本的には年会費の30,000円のみです。ただ月1回の例会終了後、或いは不定期に開かれる委員会終了後に、みんなで遅い夕食を食べに行くことは多いようです。

商工会議所青年部

〈YEG〉って？

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う若手経営者・後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所の一翼を担うという理念のもとに、各地の商工会議所に設置されています。

現在の会員数は、およそ28,000人(日本商工会議所青年部(日本YEG)加盟)を数えるまでに大きく成長してきました。青年部出身の会頭、副会頭も増え、常議員、議員を合わせると約5,500人になりました(現役会員を含む)。また、地域の事業者の後継者として若さと情熱をもった若き経済人として、産業界のリーダーとして活躍しています。まさに「若き起業家集団」として、地域の次代を担う志の高い経営者の育成に貢献していると確信しています。日本YEGは、ますますその存在と責任の重さを感じながら、真に地域が繁栄していくためのリーダーづくりに努力していきます。

YEG会員 企業訪問

株式会社トヨタレンタリース北見
営業部第2ブロック 次長

平田 俊宏さん

北見商工会議所青年部
組織づくり
20周年準備委員会所属



平田さんはレンタカーとカーリースでお馴染みの株式会社トヨタレンタリース北見でオホーツク管内の拠点を統括する次長として活躍されています。レンタカーは主に空港からの観光客やビジネスマんに、カーリースは法人向けに事業を展開されています。「近年ではレンタカーを利用される方もアジアからの観光客のウエイトが増えています。この業界もどんどん国際化していますね」と話す平田さん。仕事を離れるとゴルフが趣味という一面も。特にYEGメンバーとのゴルフは楽しみのひとつでもあるそうです。「仲間とのゴルフはとても楽しく良い息抜きになっています。入会して周りのメンバーに恵まれたと感じますね」と話す笑顔が印象的でした。